

# 如新会短信 (2012年度-1号)

2012年6月17日発行

大阪市立大学如新会

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学経済学部学務係気付

## ■ 研究科長挨拶 大学を取り巻く現下の状況

経済学研究科長 脇村孝平

如新会の皆様に、大阪市立大学を取り巻く現下の状況について簡単にご説明いたします。昨年の11月に、大阪市長選挙が行われ、橋下徹氏が当選して第19代の大阪市長に就任したことは、皆さまもご承知の通りです。橋下新市長および松井新府知事の連携によって、現在、大阪市立大学と大阪府立大学は、法人統合を目指して調整が進められています。当面、大学そのものの統合は予定されていませんが、「一法人二大学」という形態が日程に上っています。それに加えて、橋下市長の指示で、大阪市立大学に対してはある種の新しい改革（あるいは再編）が強く求められています。実は、平松前市長の下でも、五年間で人員・予算ともに二割減というリストラが進められてきたのですが、新たににより抜本的な改革が求められているとも言えます。

こうした状況は、一見、橋下体制によって我が大学に突然降りかかってきたかのように見えるかもしれませんが、しかし、必ずしもそうではありません。文部科学省が今年の6月に公表した「大学改革実行プランー社会の変革のエンジンとなる大学づくり」という文書によると、国立大学にも本質的には同じ程度の抜本的な改革の波が及ぶであろうことが示唆されています<sup>1)</sup>。

例えば、「一法人複数大学方式」は、そこでもまた提案されています。外を見ればグローバル化の大きなうねり、内を見れば高齢化にともなう国・自治体の財政危機という大状況の中で、何れの大学も大きな変化を余儀なくされていることは間違いありません。そうだとするならば、我が大学もまたこの改革へ積極的に取り組むことが必要となりましょう。

かかる状況において、経済学研究科・経済学部も、柔軟かつ大胆に未来を見据えた構想を練りながら、この一年ぐらいの間に新たな方向性を定めていく必要に迫られています。私たちスタッフ（教員）は、旧制の商科大学以来の伝統（優に80年を超えます）、あるいは大阪市立大学以来の時間の経過（60年弱）を十分に踏まえつつ、創造的な形で改革に取り組みたいと考えています。その中で、約四半世紀を経過した我が大学院前期博士課程の社会人特別選抜制度の実績もまた我が資産として活かしつつ、今後の方向性を定めていきたいと思えます。

1) [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/24/06/-icsFiles/afildfile/2012/06/05/1312798\\_01\\_3.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/24/06/-icsFiles/afildfile/2012/06/05/1312798_01_3.pdf)

## ■ 会長挨拶 「継続は力なり」

会長 竹内淳一郎

恒例の社会人修士論文発表会は、3月24日(土)に多数のご参加をいただき、ありがとうございました。竹内徹夫氏(経修2006)の辞意で空席になる副会長は、総会で村上周郎氏(営修2000)、松崎征弘氏(経修2003)がお引き受けいただきました。その後、松崎氏が7月から日中経済協会上海事務所転勤が決まったため、橋高修一氏(経修2002)にお願いしました。松崎氏は、赴任後

も訪日機会も多く副会長として広報を担当していただきます。

今年度の新社会人院生は、ありませんでした。松本市の方が辞退されたためです。10月の「社会人特別選抜」に期待したく、お知り合いで受験される方をご推薦いただければ幸いです。脇村学科長には、社会人大学院の変革をお願いしています。

恒例の夏季シンポジウム、修論発表会は行います。夏季シンポジウムのご案内、本年度如新会事業行程表、会員名簿を同封します。

本会存続の危機は、まだ脱却できていません。「継続は力なり」、ぜひ皆様のご協力とご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

## ■ 如新会修士論文発表会が開かれました！！



□修士論文発表会 参加(17名)：会員13名 教員2名 経友会(事務局長)1名 院生1名  
日時：2012年3月24日(土)  
場所：大阪市立大学経済学部棟2階 第4会議室

- |           |                     |          |             |
|-----------|---------------------|----------|-------------|
| 1. 開会     | 司会                  | 竹内徹夫 副会長 | 14:00～14:05 |
| 2. 開会挨拶   | 如新会                 | 竹内淳一郎 会長 | 14:05～14:10 |
| 3. 来賓挨拶   | 副経済学研究科長            | 長尾謙吉 教授  | 14:10～14:30 |
| 4. 修士論文発表 | 竹本 治男 (たけもと はるお)氏   |          | 14:30～15:10 |
| 論 題       | 「日本の最低賃金制度についての一考察」 |          |             |
| ご 講 評     | 指導教官                | 玉井金五 教授  | 15:10～15:20 |
| 質疑応答      |                     |          | 15:20～16:10 |
| 5. 閉会     |                     |          |             |

(修士論文の概要)

最低賃金制度は労働者に支払う賃金の最低限度額を法で定めるものであるが、近年の不況による雇用ニーズの減少と非正規雇用労働者の急激な増加により、支払賃金が最低賃金に近接する労働市場を構成するようになって、最低賃金の低さが貧困労働者を大量に発生する要因とみなされている。この状況改善のため本稿では、EU加盟国がパートタイム労働にとる「同一労働・同一処遇」政策の評価や現行制度のなかで最低賃金の決定基準にある使用者の支払い能力を精査し最低賃金増額へのアプローチを模索するものである。(担当 竹本治男)

□2011年度総会 参加(15名)：教員1名 院生1名 会員13名 16:15~17:20

議長選出(以下、敬称略)：

議題 1. 会長挨拶

2. 2011年度事業実施報告

3. 2011年度の会計報告

4. 2012年度事業計画

5. 会則の変更(太字が変更箇所)

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

(1) 会長 1名、副会長 1名 ⇒若干名

2 副会長は、少なくとも1名が、経営学研究科社会人大学院修了者とする。

(2) 幹事 若干名 (毎年の同経済・経営学研究科社会人大学院修了生)

(役員任期)

第9条 会長・副会長の任期は、3年とする。

2 幹事は、当年度修了生の輪番制で1年とする。

ただし、修了生がない、もしくは少ない場合は、前年度修了生が留任する。

6. 副会長の選出

村上周郎 (経営 2000、元・住友化学)

松崎征弘 (経済 2003、現・日中経済協会関西本部事務局長)

7. 2012年度夏季シンポジウム実行委員会の設置

目的:テーマ、講師、日時、場所の設定

委員長 副会長が担当、事務局 幹事

8. 社会人大学院改革推進委員会の設置

目的:(1)社会人大学院院生の入学者の確保

(2)会員の研究および成果発表の場のあり方

(3)会員のドクター取得支援のあり方

委員長 会長が担当 委員 会員数名および教員(依頼) 事務局 幹事

議題は、一部修正のうえ可決された。

□懇親会 参加(17名)： 教員2名 会員15名 17:30~20:00

懇親会(いわし亭) 06-6691-0027 (懇親会費 4,000円)



## ■ 2011年度の会計報告

2011年度如新会会計報告は、2012年3月24日の如新会総会で承認されました。次期繰越金は214,198円です（会計 山内）。

2011年度会計報告<sup>1)</sup>  
 (2011年3月12日～2012年3月23日)

| 収 入            |                      |    | 支 出              |                      |    |
|----------------|----------------------|----|------------------|----------------------|----|
| 項目             | 金額                   | 備考 | 項目               | 金額                   | 備考 |
| 前年度繰越金         | 361,790              |    | 修論発表会(2011.3.12) | 15,000               |    |
| 会費(2,000円、47名) | 94,000 <sup>2)</sup> |    | 夏季シンポジウム         | 138,307              |    |
| 郵便貯金利子         | 79                   |    | 堀晴彦氏博士取得祝金       | 10,000               |    |
|                |                      |    | 高島邦子さんお礼         | 5,000                |    |
|                |                      |    | 会合費              | 8,490                |    |
|                |                      |    | 交通費              | 47,500               |    |
|                |                      |    | 事務費              | 1,669                |    |
|                |                      |    | 通信費              | 11,785 <sup>3)</sup> |    |
|                |                      |    | 振込手数料            | 3,920                |    |
|                |                      |    | 小 計              | 241,671              |    |
|                |                      |    | 次期繰越金            | 214,198              |    |
| 合 計            | 455,869              |    | 合 計              | 455,869              |    |

注1)：上記報告書は総会で報告した2表を1表にしたもの。

2)：2012年度納入会費(22,000円、11名)含まず。

3月総会時(谷、浜口、竹内(徹)、上村、中道、高島、竹内(淳)、藤川、竹本、山内、松本、敬称略)

3)：別に、80円切手(88枚、7,040円)、はがき77枚(3,850円)、合計10,890円の手持あり。

## ■ 2012年度会費納入のお願い

郵便局で振り込み(2,000円)をお願いします。発送の都合上、全員の方に振込用紙を同封しています。他の金融機関からの振込用口座番号は

○九九(ゼロキュウキュウ)店 (099) 当座 0277731 です。(担当 松本千賀子)

## ■ 夏季シンポジウム7月28日(土)学情センター(杉本地区)に決まる！！

(別紙添付)

### ■ 短信後記

#### □ 副会長自己紹介

村上周郎です。

会長の竹内さんに如新会について、会勢拡大について意見を求められたことが在りました。その際、会の世話役定員の拡大を提案した中に、経営学研究科院生の中より副会長1名、幹事若干名を選んだらと申し上げたところ、拙宅に電話を頂き選考したが、言いだしつぺに副会長就任の依頼があり、固辞するにあたわず3年間引き受けることになりました。簡単な自己紹介をします。一橋大学の経済学部で計画経済の山田雄三教授の指導を受け1959年に卒業、住友化学に入り主として石油化学の経理、企画。営業業務を担当し、80年史の編纂に関与したので、経営史の研究に経営学研究科の佐々木先生の指導を受けました、今後は如新会が熟年大学の(初心)に戻り研究の成果が生かされる組織に再構築される時期にきて居ます。知的財産のある同窓会組織としての発展を祈念します。皆様の強力なサポートをお願いします。(村上周郎)。

橋高修一です。

関西学院大学を卒業後、朝日火災海上保険株式会社に勤めていました。中本ゼミでは、竹内さんとも一緒に学びました。私はこれまで夏季シンポには何年間も出席していませんでした。理由は、毎年同じ内容のテーマに飽きたからです。講師の顔ぶれもマンネリでした。これは私だけでなく大島ゼミの社会人院生の大部分の共通した意見です。前々会会長の谷さんが大島ゼミ代表で出席しただけで、私と同じ理由で彼らの大部分は出席していません。昨年、今年のテーマ、講師の選び方は見事だと感じています。その理由は、同一テーマについて経済学部だけでなく商学部、創造都市学部、医学部といった全く別分野から講師を選ぶことができたからです。今後も、夏季シンポのテーマ、講師については慎重に選ぶようにしたいと思います。

松崎征弘です。

大阪外国語大学卒業後、約40年間、日中経済協会で中国関係の業務に就いていました。平素、各種のご案内を頂戴していましたが仕事にかまけて当会活動には殆ど参画できなかったところ、たまたまこの6月末で転職することから若干、時間的余裕があり、7月の夏季シンポをお手伝いできることになりました。転勤後も中国、日本間をを行き来しますので、広報担当の副会長として社会人大学院や如新会の認知をはかり、当会の発展に努力します。

#### □ 幹事自己紹介

竹本治男です。

今回、修士論文発表の機会を得ましたが、その熱心な質疑応答のなかに先輩会員各位の豊富な識見と旺盛な探究心を垣間見ました。定年退職後、経済学部4年、修士2年の課程を修了し、今度こそ人生のたそがれ時を迎えるものと思っていましたが、先輩諸氏の姿勢を見て修了とは終わりではなく次のステップへの始まりであることを痛感した次第です。今後も、如新会での活動を通じて様々な刺激を賜りたいと思っています。

みなさま、御世話になります。如新会新入りの藤川です。

創造都市研究科修士課程修了後、この3月をもって、経済学研究科博士課程3年(脇村ゼミ)を終わりました。勉強不足のため、単に終わったというのが実情です。修士論文発表会に初めて参加

させていただきました。その後の懇親会にも出させていただき、皆さんとお近づきになることができました。何も分からず右往左往ですが如新会幹事の末席に加えていただきました。何かできればと願っているのですが、まだ現役で働いているのと居住地が遠いために余りお役に立ちません。どうぞよろしくご指導ください。

山内由み子です。

3月の総会後の懇親会で竹本さんと藤川さんのお二人が幹事に加わってくださることになりました。本当に強力なお二人の出現に感謝しています。実は、私は総会で「次の修士取得の方が誕生するまで幹事をせよ」という会長の言葉に不安で半泣きでした。一転して懇親会後は一挙に気楽に帰路につきました。思えば、如新会は「会員みな幹事」の気風ですから、もっともっと幹事を増やせばいいのですね。さらに、複数の新副会長さんも心強いです。

松本千賀子です。

幹事の皆様に支えていただき、パソコンの返信メールを我流に行いここまでできました。やはり学校という場は学びたい人間にとって最高の環境です。地域福祉・教育への財源が減らされてきています。引き続き皆様と御一緒に学び続けたいです。よろしくお願ひします。

竹内淳一郎です。

「ウインドウ OS の互換性の限界」と「相手の立場になって考えること」の大切さを痛感しました。竹本メール「私のパソコンは、OS が VISTA と W7 ですので XP で送れといわれても対応できません。少し工夫をして、再度送信してみます」。竹内メール「W7 の画像（修論発表会写真）と表（会計報告）は画面に表示されませんが、プリントは全頁できました」（後方互換性不完全性）。使い慣れない X7 を立ち上げると、竹本メールが読めました（前方互換性）。今後、X7 と XP を使い分けすることにします。